



家具設置の際の 注意点

家具インテリアリサイクル&リニュー協議会

本ガイドは、家具を長くご使用いただくための一般的な情報をご紹介します。
家具は素材や仕上げの違いにより、適したお手入れ方法が異なる場合がございます。
具体的なお手入れ方法やご不明な点につきましては、製造メーカーまたはご購入先へご
相談いただくことをお勧めいたします。
なお、本ガイドの内容を参考にされたことにより生じた不具合等につきましては、当協
会では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

食器棚やテレビ台などの設置について

ボード類を設置するときの注意点

必ず水平に設置してください。最初は扉、引き戸などスムーズに開閉できていても日が経つにつれて、収納物のバランスによって開閉しにくくなる場合があります。その時は再度水平に設置し直してください。

耐震用金具やチェーンを取りつけ、壁面への固定を必ず行い、上置下置の分離タイプは、必ず上下連結金具の取付を行ってください。なお、箱物の台枠前面に板（5mm厚程）を敷いて上部を少し後方に倒すと、さらに安全性が増します。

また、新築の鉄筋コンクリート住宅の場合は、コンクリートの湿気が残っていて、箱物家具の裏板にカビなどの発生させることがあります。湿気の状態をよく確認して、耐震設置をクリアしたうえで、家具を壁面から3～5cmほど離して設置するだけで効果が出る場合があります。



TVボードを設置するときの注意点

テレビなどの転倒防止に耐震マット（ジェル）を使用する場合、耐震マット（ジェル）に含まれる特殊成分と天板の塗膜とが反応して塗膜が溶解し、痕跡が残る可能性がありますのでご注意ください。特に、ラッカー塗装の天板への使用は絶対に避けてください。



引き出しが固くて引き出せない時

湿度が高い日が続いた場合には、引き出しが水分を吸収して木が膨張し、動きが悪くなることがあります。その時は、天気の良い日に風通しのよい日陰で風に当てると、縮んで元にもどりやすくなります。さらに引き出し本体の側板の側面と底面にローソクの蠟を塗ると、すべりがよくなります。難しい場合は、メーカーにご連絡ください。



テーブルのご使用前に気をつけて頂きたいこと

天板の傷などの防止

テーブルの表面は塗装されているものも多く、一般的に陶器類の食器の底面は直接使用すると天板にキズの付きやすいものが多いので、食事のときにテーブルクロスやランチョンマット等の敷物をご利用をお勧めします。天板の上に熱い物を直接置くと、塗装面の変色やの原因になります。



メラミン化粧板を貼ったテーブルについて

メラミン化粧板を表面材に貼ったテーブルは熱や傷に強いと言われていますが、80度～100度が耐熱温度です。鍋ややかんなどの熱いものを直接置くことは止めてください。天板を接着している接着剤が熱によって、剥がれる原因になります。また、新聞や雑誌を敷物にしないでください。新聞や雑誌のインクには樹脂系の油やカーボンが使われており、これが熱によって溶け、天板表面に紙が貼りつき、取れなくなってしまうことがあります。



ビニールマットについて

天板が天然木のムクや突板の場合は、表面塗料と癒着を起こして、取れなくなることがあります。必ず専用の敷物をご使用ください。また、ビニールやガラスを長時間、直接載せておくのも塗膜や木部によくありません。1カ月に1回は、一旦外して空気を通してください。



ぐらつき防止

脚部の取り付けは、ほとんどのテーブルが金属ボルトの締め付けになっています。使用中にぐらつきを感じた場合はこのボルトが緩んでいますので、ときどき増し締めを行う事が大切です。脚の取付方法や説明書を保管しておいてください。引越の際にも確認できます。

